

## 「観光関連事業者景況調査（12月分）」集計速報

### 調査概要

本調査は、静岡県中部5市2町の観光関連事業者の中から抽出した331事業所に対して2022年1月7日付で調査票を送付し、郵送またはWebで149先から回答（回収率45.0%）を得た。表内の数字は指数（STI※）で示しており、最大+50、最小▼50で、基準時点と比べた景況感を示している。

### 1. 直近の景況感

#### （1）前月と比べた当月（12月）の景況感

（全体）昨年11月と比べた昨年12月の景況感は▼2.5と3カ月ぶりのマイナス

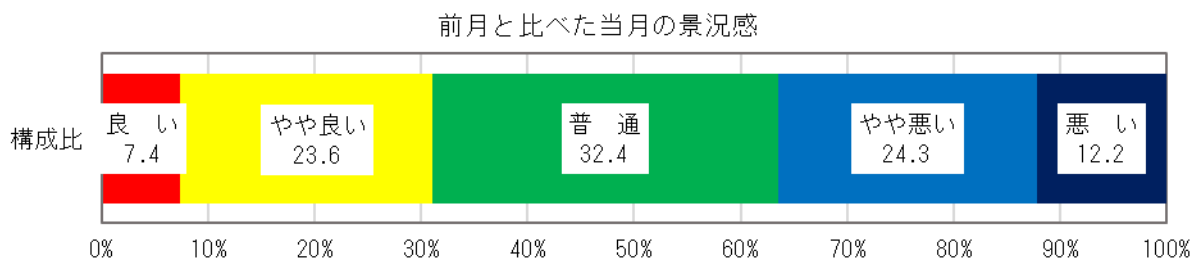
（業態）交通とその他はプラスだが、残る業態はマイナス

（地域）焼津市と牧之原市はプラス、静岡市・島田市・藤枝市・川根本町がマイナス

#### 前月と比べた当月（12月）の景況感（STI）

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
12月・速報	▼ 2.5	▼ 8.8	▼ 0.6	▼ 2.6	▼ 3.4	+ 2.8	+ 5.0
11月・確報	+11.0	+11.3	+10.0	+16.7	+12.5	+16.7	▼ 9.4

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
12月・速報	▼ 2.5	▼ 2.6	▼ 8.9	+ 1.6	▼ 6.9	+ 3.3	± 0.0	▼ 5.6
11月・確報	+11.0	+12.8	+23.2	+14.3	+ 7.1	▼ 1.8	+ 7.1	± 0.0



※…STI (Suruga Tourism business Index)…静岡県中部5市2町の観光関連ビジネスの景況感を示す指数。設問に対して5択（「良い」+50、「やや良い」+25、「普通」±0、「やや悪い」-25、「悪い」-50）で回答してもらい、回答を点数化して合計し、有効回答数で除した値。全員が「良い」と回答すれば指数は最大値の+50となり、全員が「悪い」と回答すれば指数は最小値の-50となる。結果がプラスの場合には基準時点よりも景況感が『改善』、マイナスになれば基準時点よりも景況感が『悪化』したことを示す。

(2) 当月(12月)と比べた2~3か月先の景況感の見通し

(全体) 昨年12月と比べた今年2~3月の景況感は▼16.0と悪化の見通し

(業態) その他以外の業種は2桁のマイナス

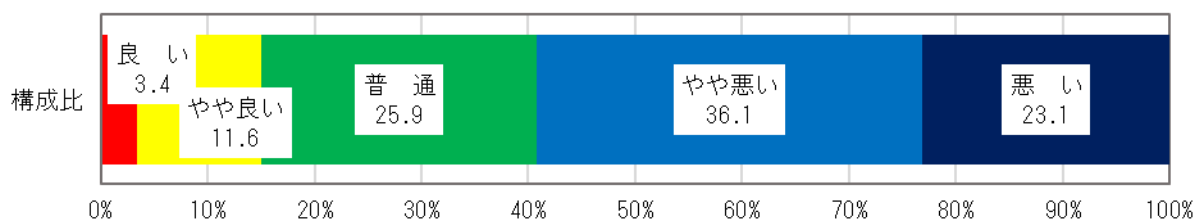
(地域) 全市町がマイナスで、静岡市・島田市・焼津市・吉田町・川根本町は2桁マイナス

当月(12月)と比べた2~3か月先の景況感の見通し (STI)

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
12月・速報	▼16.0	▼11.3	▼17.6	▼25.0	▼19.3	▼22.2	+5.0
11月・確報	▼7.4	▼6.7	▼13.6	▼6.3	+9.2	▼22.2	▼3.1

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
12月・速報	▼16.0	▼17.2	▼21.4	▼26.6	▼5.6	▼3.3	▼12.5	▼16.7
11月・確報	▼7.4	▼7.1	▼1.7	▼7.1	▼12.5	▼3.8	±0.0	▼25.0

当月と比較した2~3か月先の景況感の見通し



2. 過去と比べた当月(12月)の景況感

(1) 昨年同月(コロナ禍)と比べた当月の景況感

地域全体 + 8.1 (前月 ▼ 1.0)

(1年前からの変化の要因)

- ・安全・安心認証の取得で来店客が増えた
- ・少人数での店内飲食が増えた
- ・中部横断自動車道が開通した
- ・GOTトラベルが実施されていない
- ・客単価(≒販売価格)を低く設定しないと集客できない
- ・GOT EATの延長に期待したが効果なし
- ・団体客まだ少ない

(2) 一昨年同月(コロナ禍以前)と比べた当月の景況感

地域全体 ▼15.8 (前月 ▼21.1)

(2年前からの変化の要因)

- ・コロナ禍でもキャンプ人気が続いている(1人キャンプ等も多い)
- ・SNS等を含め営業活動が少しずつ実を結んできた
- ・団体客が戻ってこない
- ・仕入れ価格が上昇している
- ・インバウンドや県外の来訪客、バスの立ち寄り引き続き大幅に減少
- ・コロナ禍で企業の忘年会がほとんどなかった、グループの人数が減った

(以上)